

麻生区区民会議 第6回専門部会『麻生区の魅力の発掘・発信検討部会』議事要旨

- 1 開催日時：平成29年6月13日（火）午後3時～午後5時
- 2 開催場所：麻生区役所 第2会議室
- 3 出席者：[専門部会委員] 安藤和彦委員、石井よし子委員、菅野明委員、鈴木昭弘委員、高倉秀敏委員（副部会長）、長岡さや委員、橋本周委員、林恵美委員（部会長、全体会副委員長）、松田基久乃委員、吉垣君子委員
[事務局] 企画課 安藤課長、福島係長、鈴木
[コンサルタント] 中島、永野
- 4 傍聴者：0名
- 5 議 題：
 1. 調査・審議課題の検討について
 - (1) 企画部会の報告について
 - ・事務局より麻生区区民会議ニュース第6期 Vol. 2 発行の報告を行った。
 - (2) これまでの審議内容の振り返り
 - ・『麻生区の魅力の発掘・発信検討部会』におけるこれまでの審議内容を振り返った。
 - (3) 情報提供
 - ・事務局より参考資料として川崎市 市勢要覧 2017 カワサキノコトを配布した。
 - (4) 今後の検討内容・検討方法を考える
 - 1) 魅力の発信について
 - ・コンサルより魅力の発信に関する説明を行った。
 - ・本部会の目的は、麻生区の子育て世代を対象に、「麻生区の魅力を広く浅く知ってもらう、知ってもらうきっかけをつくること」という確認を行った。
 - 2) 魅力の発信方法について
 - ・まずは、小学校時期の子育て世代を対象に、体験型・実践型を柱とする麻生区の魅力（「自然と農」「芸術のまち」「市民活動が盛ん」）を発信することとする。また、発信の時期やタイミング、具体的な発信方法については、今後検討していくこととした。
- 【主な意見】
 - ・幼稚園の年長、小学生のように子どもが親と一緒に動く時期の子育て世代を対象としてはどうか。
 - ・親から友達と共有の対象は変わるかもしれないが、その時期その時期に親や友達と魅力を共有することで子どもの成長につながると思うので、小学生から高校生までの子育て世代を対象としてはど

うか。

- ・年長（就学前の1年）は小学校前の大切な時期であるので、年長を絡めていくのが大事ではないか。
- ・子育て期は行政からも手厚い情報提供が行われるが、学童期に足りていないと思うため、学童期の子育て世代を対象としてはどうか。
- ・小学生の時期が親とコミュニケーションをとるタイミングが多いため、よいのではないか。
- ・小学生でも、1年生では保育園・幼稚園児に近く、6年生では中学生に近いので、小学生を対象といても、その付近の年代には有効なのではないか。
- ・発信の対象を絞ることは、その他の対象に発信しないというわけではない。対象に発信していくことで、その周りの世代や保護者等にも伝わっていくのではないか。
- ・魅力の「何を」の部分から確定させた方がよいのではないか。
- ・魅力は前回までの議論で「自然と農」、「芸術のまち」、「市民活動が盛ん」に、ある程度絞られているので、その魅力ごとに発信する対象を決めるという方法もあるのではないか。
- ・具体的な例にあてはめて、検討してみてもどうか。
- ・時期に関しては、七草がゆやどんど焼きといった、子どもも親も大勢来るイベントの際に発信すると良いのではないか。
- ・イベントカレンダーがあれば、どんな行事がどの時期にあるか、前もってわかるため、あらかじめそのイベントを予定して、他のスケジュールを組むことができる。
- ・転入や入学など、節目のタイミングは配布される書類が多く、見逃されやすいのではないか。
- ・学校で配布してもらえると、親も子どもも情報に触れることができると思う。4月の初めは配布物が多いため、4月の終わりから5月末あたりに配布してもらおうと良いと思う。
- ・GWにどこにでかけるか迷っている家庭向けに、GW前に配布するとよいのではないか。
- ・魅力には、麻生区ならではの部分をPRできるとよい。

2. その他

- ・部会名について、「麻生区の魅力の発掘・発信検討部会」のままとすることが確認された。
- ・7月11日（火）は開催せず、次回は8月8日（火）に開催することとした。
- ・次回全体会議（7月18日（火））に提出する資料について、本日の内容をまとめたものを提出することとし、資料確認は部会長、副部会長確認のうえ、各委員へ配信することとした。
- ・次回までに、各委員は麻生区の魅力と言える体験型・実践型のイベントについて検討してくることとした。

以上